



コスモス

校訓：支え合い 学び合い たくましく
学校教育目標

「ふるさとを愛し 志をもって
チャレンジする人を育てる」

児童会で1年生を迎えた 〈1年生を迎える会〉

入学式は学校行事として新入生の入学を祝う儀式です。これに対して、『1年生を迎える会』は、児童会主催の行事で、児童会役員さんや6年生の子どもたちが中心となって、1年生の入学を大歓迎する会です。1年生にとっては、緊張感の大きかった入学式に比べて、学校生活にかなり慣れ、少しほのリラックスして参加できたのではないかでしょうか？

校長の話では、1年生には、「入学してから、みんなとってもよくがんばっていますね。困ったことがあつたら、先生たちや上級生のお兄さんやお姉さんに相談してください。」ということを話し、2年生以上の子どもたちには、「1年生は小学校では一番年下ですが、こども園や幼稚園では一番年上の年長さんとして何でもがんばり、できることがいっぱいあるので、そのすばらしさを引き出してあげて、みんなで楽しい毎日を創りましょう。」という内容の話をしました。

1年生の自己紹介では、「自分の好きなこと」などを、みんな元気いっぱいに話してくれました。

その後は、プレゼントのメダルを、一人一人の首に2年生からかけてもらいました。とってもうれしそうでした。

赤・白・青・桃の4色色別チームで写真を撮った後は、6年生が考えた全校ゲームを行いました。『ジャンケンピラミッド』です。6年生がピラミッド（平面）のように並んで待ち構え、1年生や他の学年の子どもたちがジャンケンを挑みます。勝ったら次の列の6年生にジャンケンを挑み、負けたらもう一度1列目に戻って6年生とジャンケンをします。負けずにどんどん勝ち進み、一番最後の砦の6年生を突破したら、ステージに上がって悠々と見学や応援です。6年生5、6人にジャンケンで勝ち続けなければならないので、突破するのは至難の業ですが、5分ぐらいで10人ぐらいの子が突破しました。1年生の子も何人かいました。とっても強いなあと感心しました。

児童会と6年生が中心になり、全校生みんなの力と心で、1年生を迎える会ができました。



失敗・やり直しができない…交通安全 〈交通安全教室〉

学校では様々な危険から子どもたちを守らなければなりませんが、『交通安全』もその大切な一つです。毎年、交通安全教室をこの時期に行い、子どもたちは「命の大切さ」「交通安全の大切さ」「どうすれば交通事故から自分や他の人の命を守ることができるのか」を考え、具体的に練習をしています。

先日、本年度の交通安全教室を全校生で行いました。財田上・中の駐在所のお巡りさん、財田地区の交通指導員さんも参加してくださいました。

中心で行ったのは、横断歩道の渡り方です。自治会や子ども会別のグループに分かれて、高学年の子がリーダーとなって、数名で横断歩道の渡り方を何度も練習をしました。

まず、〈止まります〉。次に、〈見ます〉。そして、〈待ちます〉。車が来ていない等の〈安全を確認できたら手をあげて渡ります〉。練習ではできました。これを日常生活の中でいつもできることが必要です。運動公園の駐車場での子どもたちの朝の様子を見ていると、少し心配なことがあります。周りを見ないで正門の方に来ようしたり、左右を見ていなかつたり、手のあげ方が低かつたりしていることがあります。「休みの日に出かけた時などはどうなんだろう？」とちょっと心配になることがあります。

自分だけで出歩くことが少なく、出かける時はお家の人の車に乗ることが多いと思うので、交通量の多い所を歩くことは少ないと思います。しかし、だからこそ交通安全に対する意識や正しい行動を、今のうちにしっかりと身に付ける必要があります。お巡りさんから、

「他のことは、「あっ、失敗したから、もう一度やり直そう。」でいいけれど、交通については、「失敗したからやり直し」はできません。一度の失敗だけがをすること、命がなくなること、相手に大きなかがをさせてしまうこと、相手の命を奪ってしまうことがあります。」

という内容のお話がありました。確かにその通りだと思いました。

命は一つしかありません。交通安全第一の行動をしっかりと実行していきましょう。

